

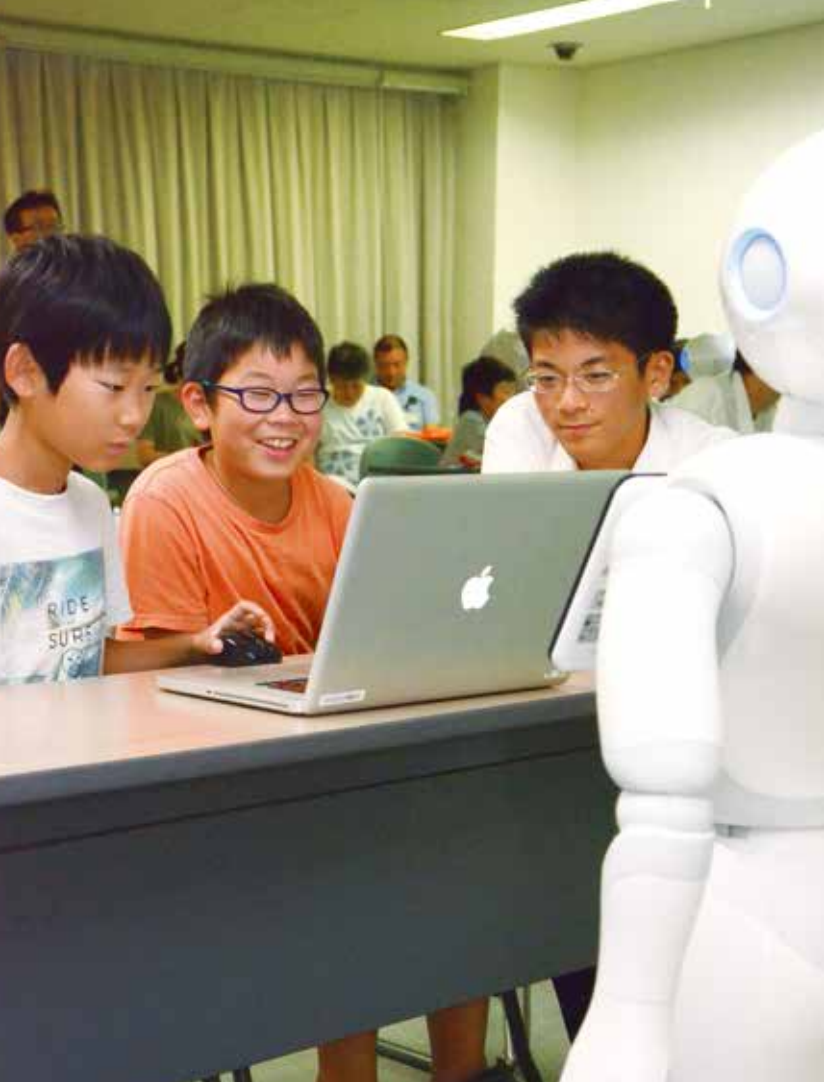
暮らしの未来を拓く

Information and Communication Technology



市では、ICTの活用による「つなぐ」「つむぐ」「働き方」の取り組みを一体的に推進し、地域経済の持続的な発展を可能にする仕組みの構築を目指して、「ICT推進プロジェクト」に取り組んでいます。

◎戦略推進課 ☎36・7127



ICTって何？

ICT（アイ・シー・ティー）とは、Information and Communication Technology の略で、日本語では「情報通信技術」「情報伝達技術」と訳されます。皆さんが普段から利用しているSNSやインターネットなども、全てICTです。例えば近い将来、今まで通院が必要だった医師による診察や薬の処方も、家庭にいながら受けられるようになったり、移動が困難な高齢者や中山間地域に住む人でも、不自由なく日常的に医療サービスが受けられるようになったりするかもしれません。

このようにICTは、時間や場所、距離に捉われないことなく、自分自身のライフスタイルに合わせた暮らしや働き方を可能にするものであり、これからの社会に必要な仕組みなのです。

ICTで暮らしはどのように変わる？

平成30年版情報通信白書によると、「ICTは労働投入量の効率化、付加価値増増の両面において労働生産性の向上に貢献し、人・モノ・組織・地域などあらゆるものを『つなげる』ことで新たな価値創造を実現する。ICTを活用して、需要喚起、生産性向上、社会・労働参加を促進すること、人口減少時代における持続的成長が図られる」とされています。

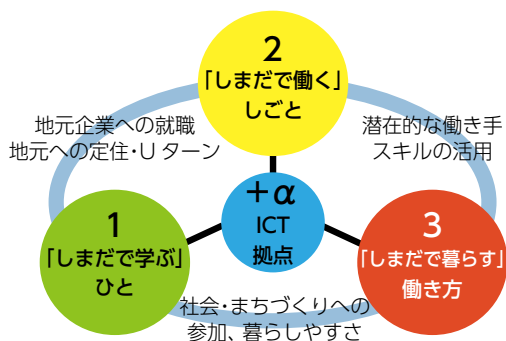
す。つまり、ICTは社会を発展させ、暮らしを豊かにしていくということです。

【例えば】

家庭 スマートハウスで、自動的に快適かつ省エネにも配慮した温度・湿度に調節。スマートフォンで、家の様子もチェックできるように工場 機械の普段と違う振動や異常音をセンサーで読み取ること、あらかじめ故障を予測でき、スムーズな操業ができるように

農業 GPSによる農業機械の自動走行や田んぼの水管理、ハウス温度・湿度などの管理が遠隔で可能に。作業が効率化し、作物の収穫量や品質が向上するように

地域 翻訳ソフトを使った、外国人との気軽なコミュニケーションが可能になり、外国語や異文化に触れられるように



「ICT 推進プロジェクト」のイメージ図

今の暮らしをもっと**便利・快適・安全**にする ICT 利活用

市では平成 29 年 3 月、市内民間事業者および市内産官学金労の団体による「島田 ICT コンソーシアム」を設立しました。ICT の効果的な活用を推進し「誰もが暮らしやすいまちづくり」を目指して、3 つの取り組み+α(プラスアルファ)を進めています。

1 次世代の島田市を担う ICT 人材育成

今後、多分野へ活用が進むと予測される ICT・IoT (モノのインターネット)、AI(人工知能)などによって、課題を克服・解決できる人材が求められています。

昨年度は市内中学校 2 年生を対象に「^{ペッパー}Pepper プログラミング体験学習」を実施。今年度は中学校に加えて、小学校でもドローンを活用したプログラミング体験学習を実施します。年末には、興味を持った児童を対象にした「IT キャンプ」など、年代やレベルに応じた講座を展開。将来、島田で活躍する ICT 人材の育成を進めます。



2 産業への ICT 導入・利活用の促進

製造業・農業・建設・観光・介護・防災などの分野で、生産性の向上や高品質化、人材不足などの課題解決に向けた取り組みを進め、地域経済の持続的発展を目指します。

特に、今年度は防災や観光分野における ICT の効果的な利活用方法や、農業分野における生産性の向上、省力化等を目指す実証実験を実施していきます。また「ICT 利活用促進モデル事業」として、市内事業者から提案のあった事業を実施してもらい、その成果をフィードバックすることで、市内産業における ICT の利活用促進につなげます。



3 時間と場所に捉われない働き方の推進

これからの人口減少社会では、子育てや介護などで働きたくても働くことが難しい人や、元気なシニア層も、自身のスキルを生かし、ライフスタイルに合わせて働くことができる仕組み「クラウドソーシング(※)」が重要となってきます。

昨年度は、この働き方を広く周知するセミナーや、ワーカー育成のため記事作成の発注体験事業などを実施しました。今年度からは企業や行政等からの「仕事」と「働きたい人」のマッチングを行っています(詳しくは、ホームページをご覧ください)。

asubiPlanning.com



※インターネット上で、不特定多数の人に対して、業務内容と報酬を提示し、仕事を発注する方法

+α ヒトをつなぎ新たなコトを生み出す場所

「しごと・ひと・働き方」の 3 つの取り組みと、それに関わる人をつなぐ場として、島田商工会議所内に活動拠点「C-BASE」を開設しました。インターネット回線や Wi-Fi 環境、机・椅子などを完備したワーキングスペースとして、誰でも無料で利用できます。

また、ICT に関する講座やセミナー、勉強会などを開催しています。

☎ C-BASE ☎ 39-3666
平日午前 9 時～午後 5 時
(祝日・年末年始などは除く)

https://s-ict.jp



クラウドワーカー すずきゆう 鈴木優さん

自由な時間の使い方をできることが魅力です

クラウドソーシングを使って、SNS を更新したりポスターをデザインしたりしています。

主には、小学生の子どもが帰ってくるまでの時間で仕事の組み立てをしています。ですが、家事や子どもの都合などで急な用事ができても、仕事の時間を組み替えて対応できます。

以前はパートタイムで働いていたのですが、朝に家事をやりきれなかったりすると、夜帰ってきてからの負担が増え、大変な思いをしていました。毎日決まった時間で働く難しさを、体感しましたね。ICTのおかげで、子育てと自分のやりたい仕事との両立ができているので、本当にありがたいです。